

2023年度 上期のご報告

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

株主の皆様には、日頃よりご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、2023年度上期（2023年4月～9月）の業績の概要をお知らせいたします。

2023年度上期の業績は、売上高は前年同期に比べて1.8%減の3,919億円、営業利益は同12.7%減の308億円となり、減収減益となりました。前年度上期は、2019年度の大きな業績悪化への対処として実施した事業再生計画の成果と為替による追い風があいまって、売上、利益とも過去最高額となりましたが、当上期は、年度当初の見込みどおり、世界的にIT大手企業の設備投資が鈍化したことが、減収減益の主な要因となりました。

売上面は、情報通信事業では、顧客の設備投資抑制により需要が落ち込むこととなりましたが、円安による追い風などあって前年同期に比べ微増となりました。エレクトロニクス事業では、いわゆる巣ごもり需要が無くなったことなどが響き、大幅な減収となりました。自動車事業では、新車種向け製品の立上げがあって増収となりました。エネルギー事業では、前年同期に比べ若干の減収となりました。

利益面は、情報通信事業では、IT大手企業等の設備投資抑制により需要が減少しましたが、為替の影響があって前年同期並みにとどまりました。エレクトロニクス事業では、需要の減少が大きく響き大幅な減益となりました。自動車事業では、需要増と生産性向上などにより採算が改善しました。エネルギー事業では、継続的に取り組んできた価格改善の成果と生産性向上の効果があって増益となりました。

経常利益は、営業利益に営業外収益69億円及び営業外費用35億円を計上し、前年同期比11.2%減の342億円となり

ました。特別利益として投資有価証券売却益など1億円を計上し、特別損失として事業構造改善費用など7億円を計上しました。経常利益にこれらを加味した親会社株主に帰属する四半期純利益は同20.8%減の252億円となりました。

2023年度通期の計画は、売上高7,600億円（前年度比5.8%減）、営業利益540億円（同23.0%減）、経常利益560億円（同17.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益410億円（同0.3%増）としました。

これは、既にお知らせしています通り、2023年度下期は、各事業部門とも顧客の在庫調整等の影響が続くことが見込まれることによるものです。しかしながら、2025年中期経営計画でお示しましたとおり、社会の高度情報化の流れが更に進展することは必定であり、足下の需要減等は一時的なものとしています。当社が誇る「つなぐ」テクノロジーは、この高度情報化社会の進展に必要不可欠なものであると確信しています。当社といたしましては、2025年中期経営計画目標達成に向け、核心的事業領域とした「情報インフラ」「情報ストレージ」「情報端末」において、「つなぐ」テクノロジーで「技術のフジクラ」による顧客価値創造と社会貢献を果たしつつ、会社の持続的成長と企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。
2023年12月



取締役社長CEO

岡田 五樹

業績ハイライト

2023年度上期業績

(単位：億円)

| | 2022年度 上期 | 2023年度 上期 | 増 減 |
|----------------------|--------------|--------------|-----|
| 売上高 | 3,991 | 3,919 | △71 |
| 営業利益 | 353 | 308 | △45 |
| 経常利益 | 385 | 342 | △43 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 318 | 252 | △66 |

■ 中間配当 2023年度（1株当たり）

22.5円

2023年度業績予想

(単位：億円)

| | 2022年度 (実績) | 2023年度 (予想) | 増 減 |
|---------------------|----------------|----------------|------|
| 売上高 | 8,065 | 7,600 | △464 |
| 営業利益 | 702 | 540 | △162 |
| 経常利益 | 679 | 560 | △119 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 409 | 410 | 1 |

2023年度上期 業績ハイライト

| | 2023年度上期業績 | | | 2023年度通期業績予想 | | |
|-------------|--------------|--------------|------|----------------|----------------|------|
| | 2022年度 上期 | 2023年度 上期 | 増 減 | 2022年度 (実績) | 2023年度 (予想) | 増 減 |
| 売上高 | 3,991 | 3,919 | △71 | 8,065 | 7,600 | △464 |
| ■ 情報通信 | 1,457 | 1,471 | 14 | 2,914 | 2,832 | △82 |
| ■ エレクトロニクス | 988 | 830 | △157 | 1,973 | 1,545 | △428 |
| ■ 自動車 | 746 | 874 | 127 | 1,559 | 1,724 | 165 |
| ■ エネルギー | 668 | 654 | △14 | 1,382 | 1,310 | △72 |
| ■ 不動産・その他 | 132 | 90 | △42 | 237 | 190 | △47 |
| 営業利益 | 353 | 308 | △45 | 702 | 540 | △162 |
| ■ 情報通信 | 205 | 204 | △1 | 407 | 358 | △49 |
| ■ エレクトロニクス | 149 | 71 | △78 | 276 | 110 | △166 |
| ■ 自動車 | △30 | △14 | 17 | △66 | △20 | 46 |
| ■ エネルギー | 4 | 32 | 27 | 45 | 61 | 16 |
| ■ 不動産・その他 | 25 | 16 | △9 | 40 | 31 | △9 |

(注) 2023年5月公表の「2025年中期経営計画」における事業戦略との整合をとるため、事業セグメントの区分を見直しました。これにより、従来「情報通信事業部門」に含めていた一部の事業を「その他」に含めるなどの変更を行っています。なお、上表中2022年度の数値は、変更後の区分に組み替えたものです。

情報通信事業部門

売上高 1,471億円 (1.0%増) 営業利益 204億円 (0.6%減)

情報インフラの分野では、欧米では、インフラ投資に係る政策の実施や金利上昇の影響等によって、通信キャリアにおいて設備投資の先送りがありました。北米電力会社向けの光ケーブルは引き続き好調となりました。他方、情報ストレージの分野では、データセンタ向けで在庫調整の動きがあって需要が落ち込みました。この部門全体では、需要減の影響がありました。為替の影響を大きく受けて、売上高は前年同期に比べて微増、営業利益は前年度並みとなりました。

エレクトロニクス事業部門

売上高 830億円 (15.9%減) 営業利益 71億円 (52.3%減)

情報ストレージの分野では、データセンタ向けなどで在庫調整により需要が減少しました。情報端末の分野では、コネクタについて採算重視の受注戦略を進めたこと、他方FPCでは競争激化が一層進んだことなどにより、需要が大きく落ち込むこととなりました。この部門全体では、いわゆる巣ごもり需要が終わったことが大きく響き、大幅な減収減益となりました。

自動車事業部門

売上高 874億円 (17.1%増) 営業損失 14億円 (17億円改善)

新車種向け製品の立上げがあって大幅な増収となりました。利益面では、前年同期は新車種向け製品の立上げ時における一時的なコスト増により赤字計上となりましたが、当上期はこれが解消されたことに加え、これまで行ってきた構造改革や生産性向上の成果などがあって、採算が大きく改善しました。

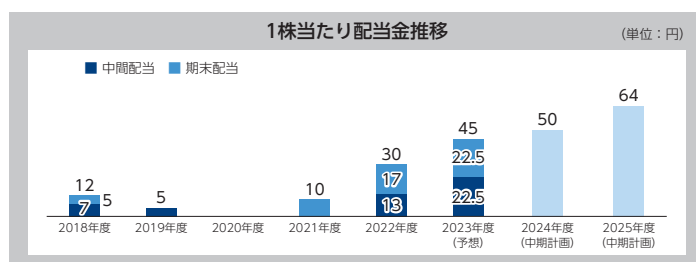
エネルギー事業部門

売上高 654億円 (2.0%減) 営業利益 32億円 (605.5%増)

売上面では、全体としては微減となりましたが、国内新工場建設などの需要が増加しました。利益面では、価格改善の取り組みや生産性向上の成果などにより増益となりました。

利益還元について

株主の皆様への利益の還元として、配当性向30%を基本方針としています。これを踏まえた2023年度の中間配当は、1株当たり22.5円といたしました。期末配当につきましても同額とし、これらを合計した年間の配当額は1株当たり45円の過去最高額を予定しています。



お知らせ

会社法では、株主総会資料は原則としてウェブサイト上でご提供することが定められています。当社では、株主様の便宜を考慮して、ウェブサイトへの掲載とともに、株主総会議案と業績の概要(招集通知サマリー)を書面でお送りすることとしています。従来どおり書面での受け取りをご希望の場合、お取引の証券会社又は株主名簿管理人までお問い合わせください。

株式会社フジクラ

〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1

株式事務についてのご案内

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031 (フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社の最新ニュース、製品情報やIR情報、統合報告書等、当社に関する各種情報は下記ホームページをご参照ください。

<https://www.fujikura.co.jp/>

